

地域再生計画（道整備 交付金）事後評価調書

都道府県名	北海道	事業実施主体	北海道、岩見沢市	地域再生計画名	南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備
計画期間	平成23年度～平成28年度	評価責任者	北海道空知総合振興局産業振興部整備課長、岩見沢市建設部建設部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	達成年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	月形町の農業施設から岩見沢市（旧北村）の農業施設への輸送時間の短縮	35.0%	H22	0.0%	H25	0.0%	35.0%	H29	35.0%	○	広域農道整備により、石狩川を挟む農村地域間の交通基盤強化を図るため、橋梁工事を実施し、H29年3月完成しH29年4月供用開始により目標値を達成している。
	指標2	幌向から上幌向への旅行速度の向上	20.0%	H22	0.0%	H25	0.0%	20.0%	H28	20.0%	○	市道整備により、市街地間の交通基盤強化を図るため、道路改良を進め、H28年3月に全線改修を終えH28年4月供用開始により目標値を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業	広域農道整備事業（整備延長）		計画	中間年度（H26）	最終実績							
	市道整備事業（整備延長）		1.8km	0.3km	1.8km	広域農道整備事業により圏域内の交通ネットワークが強化されたことにより農産物流通の効率化が図られ、農業振興の発展につながった。さらに農業の振興を進めるためには、農業施設群の広域的な有効活用、効率的な集出荷体制の確立・強化及び農業生産基盤の整備などの事業を更に進めていく。						
			3.3km	2.5km	3.3km	市道整備により圏域内の交通ネットワークが強化されたことにより市街地間（幌向～上幌向）のアクセス向上が図られ、経済活動の活性化につながった。さらに経済活動の活性化を促進するためには、圏域内の均衡ある道路整備や除雪対策などの事業を更に進めていく。						
その他の事業	南空知ふるさと物産展事業		各種イベントにおいて特産品・名産品の販売を実施			圏域内外のイベントに積極的に参加することで、物産展を年1回実施した。特産品・名産品の知名度が向上し、地場産業の育成・販路拡大へつながったと考える。また、マスコミ等に取り上げられるなどPR効果があった。						
	南空知再発見バス事業		「南空知再発見バスツアー」を実施			年に4～5回程度、圏域内の史跡や文化、観光施設など魅力ある施設を巡るバスツアーを滞りなく実施した。参加者同士及び訪問先との相互交流を行うことにより、地域間での交流活性化が図られたと考える。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	空知総合振興局農業農村整備事業推進連絡会議、岩見沢市道整備交付金事後評価会議により評価を行った。											
⑤事後評価の公表方法	空知総合振興局、岩見沢市のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画は、圏域の発展を阻害している既存交通ネットワークの弱点部を解消し、農産物流通の効率化、市街地間のアクセス向上による経済活動の活性化を促進することで、地域再生を目指すものである。広域農道整備においては、橋梁を架橋し輸送距離が短縮することで、輸送時間の短縮が図られ、平成29年4月の供用開始により数値目標が達成された。市道整備においては、道路幅員を拡幅し安全性の向上や渋滞が解消され、平成28年4月の供用開始により数値目標が達成された。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、広域農道並びに市道整備が完成し、地域再生の数値目標が達成された。強化された交通ネットワークを最大限に活かし、引き続き本地域再生計画に沿って南空知ふるさと物産展事業や南空知再発見バス事業などを積極的に実施することで、本地域再生計画のテーマである「ヒトとモノの流れ」「農業の振興」の拡大を一層強化していきたいと考えている。											